※令和４年度以降入学生用

学校番号	3006

令和５年度　工業科（工業デザイン系）

教科	工業	科目	工業デザイン製図	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	工業デザイン製図						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

製図に関する日本産業規格に則した知識と技術を習得させ、図面を正しく読み、作成する能力と態度を育てる。これまで学習してきたデザインの知識や技能をさらに発展させて、みずからデザインした作品の情報を製作者に伝え、プレゼンテーションする技術や知識を習得する。そのために、問題集などを用いて反復練習をして提出物の確認を行い、検定試験などにより到達度を図る。

２　学習の到達目標

プロダクトやインテリアなどデザインでは、コンセプトをイメージ通りに表現してクライアントなどの第三者に正しくその魅力を伝える必要がある。そのために、図面を正しく読み、正しく作成する基礎的・基本的な技能や技術を習得する。そして、これまで学習してきたデザインの知識や技能をさらに発展させて、みずからデザインした作品の情報を製作者に伝え、プレゼンテーションする技術や知識に応用、利用できることを目指す。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	デザインを正確により魅力的に表現して第三者にプレゼンテーションできるように、イラストレーションや投影図、等角図、透視図などの作図法、彩色法などの技法を理解する。	デザインを正確により魅力的に表現して第三者にプレゼンテーションできるように、作図法、彩色法などに関する知識をもとにしてイラストレーションや投影図、等角図、透視図などを作図できる。	デザインを正確により魅力的に表現して第三者にプレゼンテーションできるように、作図法、彩色法などに関する知識をもとにしてイラストレーションや投影図、等角図、透視図などの作図に意欲を持って自ら学び、主体的に取り組む姿勢・態度。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	投影図・等角図・断面図・補助投影図・展開図	・等角図　→　投影図 ・投影図　→　等角図 ・不足線の追記 ・断面図 ・補助投影図 ・展開図 ・簡単な立体の投影図 ・プリントによる反復練習	a：立体図・等角図・断面図・補助投影図・展開図について知識を学習し、理解している。また、作図に関する技術を身に付けている。 b：作図することについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて倫理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c：作図方法について自ら学び、主体的に取り組む態度を身に付けている。	問題集 プリント 課題	テスト	観察 振り返りシート
2学期	トレース・イラストレーション	・検定対策 ・トレース、イラストレーション ・プリントによる反復練習	a：図面をトレースする、イラストレーションを制作するために必要な知識を学習し、理解している。また、作図に関する技術を身に付けている。 b：作図することについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて倫理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c：作図方法について自ら学び、主体的に取り組む態度を身に付けている。	プリント 課題	検定 テスト	観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	透視図	・一点透視図　など ・プリントによる反復練習	a: 透視図について学習し、理解している。また、作図に関する技術を身に付けている。 b: 作図することについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて倫理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:作図方法について自ら学び、主体的に取り組む態度を身に付けている。	プリント 課題	テスト	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度